

『にほんごをまなぼう』17課 指導案(例)「学校が終わって」

年齢	小1～中3	テキスト	『にほんごをまなぼう』(ぎょうせい)
学習者	通級が始まり2～3週間が過ぎた小学校中学年の兄と妹(非漢字圏)は宿題も熱心にするのでややレベルが高い。もう1名(非漢字圏)は通級もしており3週間過ぎているが意欲が低く日本語レベルはやや低い。		
備考	2～3名 非漢字圏		

学習目標	
<p>1) 友達同士の会話に出てくる表現(お互いにこれまで会話している様子から「友達同士」の待遇表現に慣れてきていることが確認されている。)「うそ」、「ほんと」は使っている。「約束」「寄り道」などの語彙を入れるぐらいにする。</p> <p>2) 道順の説明の練習をしながら、「右・左」、「信号」、「公園」などのことばや「右に曲がる」などの表現を使う。</p> <p>3) 誘われた時に「いいよ」「だめ」が言える。理由が言えればいう。</p>	
P54 地図の拡大コピー(A3)、すぐろくのコマのようなもの(消しゴムを小さく切ってようじを指した)	

内容	目的
導入	
<p>T「起立。立ってください」</p> <p>Sと同じ方向を向いて、右手を挙げて「右」(ジェスチャーで上下左右。Sの方を向いて、指示を出す。Sに指示を出させて、みんなで上下左右のいい方を確認。</p> <p>T「歩きます」(足踏み)「オリベイラ君、歩いてください」</p> <p>T「まっすぐ歩きます。」直進する「右に曲がります」机の角を右に曲がる</p> <p>T「オリベイラ君、まっすぐ歩いてください。左に曲がってください」</p> <p>TやSが指示を出して、その指示に従う。</p>	<p>方向の言い方</p> <p>まっすぐ歩く</p> <p>右に(左に)曲がる</p>
展開	
<p>P54の地図の拡大コピーにコマをおいて、「右に曲がります」と言って、道順を説明しながら、学校から公園に行く。Sにコマを渡し、「右に曲がってください」「まっすぐ歩いてください」などと指示を出す。</p> <p>T:S、S:Sで指示を出しあい、どこに到着したか言う。</p> <p>横断歩道では「わたる」を使って表現する。</p> <p>P54-55の下のイラストを見て、学校→家→公園の順番に表現をしていく。2時間目でp55上のワークを書いてもらう。</p>	<p>地図を使って道順の説明ができるように誘導する。学校から寄り道をしてはいけないことに気がつかせる。</p> <p>誘いの表現を入れ込んでおく</p> <p>「公園に行こう」「だめだよ」「家に帰ろう」</p>
休憩	
2時間目:文字・語彙・表現	

<p>文字</p>	
<p>日本語学校から小学校までの道順を S と一緒に考え、板書する T:Aさん、小学校に行きますか？ S:はい。 T:歩いて、行きますか？ S:電車。0 駅。 T:0 駅は、どうやって行きますか。(黒板に簡単な地図を書くか書いてもらう) T と S で協力して:まっすぐ。右に曲がる。</p> <p>地図でたどりながら、道順を板書する ノートに視写する(児童Bは漢字が書けるので漢字にしながらかいてもらう。Aは視写も難しければ地図を書く) カタカナ練習帳(宿題チェック)、漢字ノート</p>	<p>発話した情報を文字化する (話したことを文字にすることは難しいが、慣れていくようにする。視写から)</p>
<p>まとめ プリントを配る。(宿題)</p>	